



学校だより

横浜市立秋葉中学校

令和7年12月2日発行

電話811-6773 FAX813-9438

「誰か」のことじゃない

校長 柿崎 順子

12月4日から10日は、「人権週間」です。1948年12月10日に国際連合第3回総会において、全ての人民と全ての国とが達成すべき共通の基準として「世界人権宣言」が採択されたことから、この日を「人権デー」とし、この人権デーを最終日とする1週間を、法務省の人権擁護機関が人権週間として定めたものです。

中学生にとって最も身近な人権問題は「いじめ」であり、12月は「横浜市いじめ防止啓発月間」でもあります。

4月におこなった市の学力・学習状況調査の中で行った「生活意識調査」の中には「いじめはいけないことだと思いますか」という質問があり、本校では約77%の生徒が「そう思う」と答えていましたが、同じ調査の「学校は安心してできる場所ですか」という質問に対して約11%の生徒が「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と答えていることを忘れてはいけなと思っています。

今年度、生徒会が中心となって、各クラスがそれぞれ「いじめをなくすための取組」を行っています。先月行われた地区懇談会では、各クラスの学級委員がそれぞれの取組を紹介する動画を参加された皆様に見ていただいた上で協議を行いました。レクやアイスブレイク等で、クラスの中の人間関係をよくしていく取組や、日直が帰り学活で、その日にいいことをしていた人を発表する取組を行ったクラスや、無視をしない、人の意見を否定しないとといった約束を決めたクラスなど様々で、地域の方からは「生徒自身が考えて行動していることが素晴らしい」という感想をいただきました。ぜひ、3月まで継続発展させていってほしいと思います。

法は、いじめを受けた児童生徒が「心身の苦痛を感じているもの」を「いじめ」と定義しています。

自分自身がつらいなと感じてしまっている人はいないでしょうか

もしちょっとでも、つらいなと感じている人は、ぜひ、信頼できる大人に相談してください。

また、自分のまわりに、つらい思いをしている人はいないでしょうか

自分のことばやふるまいで、誰かの心身に苦痛を与えてしまっていないでしょうか

そうした意識をみんながもっていてほしいなと思っています。

何をつらいと感じるかは、人によって違うこともあります。

自分は平気でも、同じことをつらいと感じる人もいるかもしれません。

表面上笑っていても、実は心の底では、いやだなと感じている人もいるかもしれません。

タイトルの「誰か」のことじゃないは、人権週間のポスターに書かれている言葉です。

誰もが、安心して、ゆたかに過ごせる学校は、「誰か」ではなく、この学校に関わるすべての人でつくっていくものだという意識を忘れずにいたいものです。